

2014年6月11日

報道関係者各位

No.-62121

株式会社東陽テクニカ

**東陽テクニカ、INTEROP においてチェック・ポイントと連携デモ
～Spirent Studio でマルウェアトラフィックを送信しチェック・ポイントでブロック～**

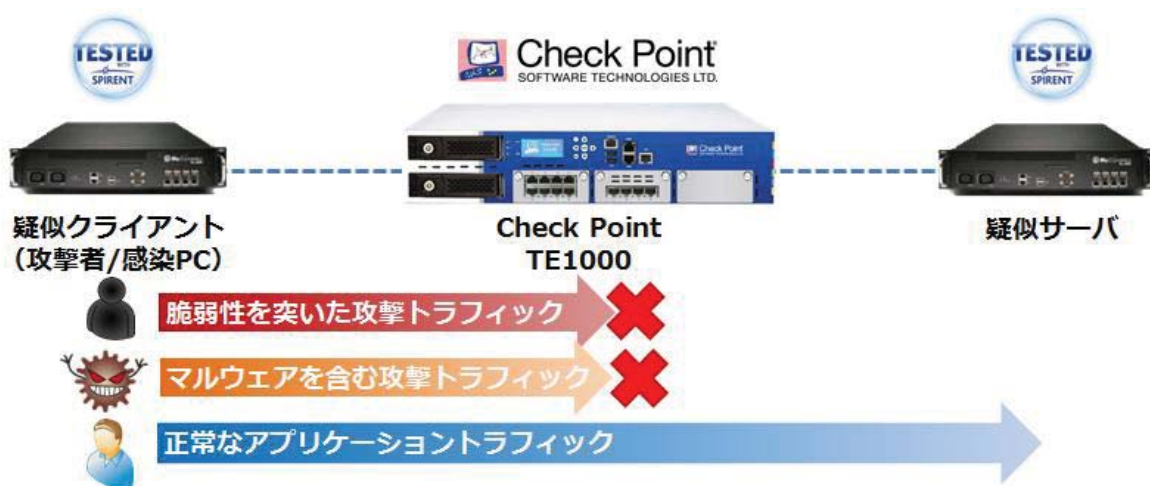
株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区、代表取締役社長 五味 勝、以下「東陽テクニカ」)は、ネットワーク関連における日本最大級の展示会である「INTEROP TOKYO 2014」において、チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 堀 昭一、以下「チェック・ポイント」)と連携デモンストレーションを行います。

ぜひ東陽テクニカ展示ブースにお立ち寄りいただき、最新ソリューションと両社の連携デモンストレーションをご体感ください。

[展示内容]

- 東陽テクニカが総代理店となっている米国スパイレント・コミュニケーションズ社(以下「スパイレント社」)の次世代セキュリティテストツール“Spirent Studio”で標的型攻撃パターンとして知られる”マルウェア”に感染したクライアントを疑似し、攻撃トラフィックと正常の通信トラフィックを混ぜた状態でチェック・ポイント社製“Check Point TE1000 Appliance”に向けて送信。
- Check Point TE1000 Appliance は、ネットワークに流れるトラフィックパターンからマルウェアに感染したクライアントが送出する攻撃トラフィックを見分け、正常のトラフィックは全て透過しつつ攻撃トラフィックのみを防御しセキュアなネットワークに保つ。(下図参照)

[連携展示イメージ]



※製品の機能イメージ図であり、図中の商標の製品自体を提供するものではありません。

(参考)

INTEROP Tokyo 2014 |”To the Next Connected World”

開催場所: 幕張メッセ

開催日時: 2014年6月11日(水)~6月13日(金)

<http://www.interop.jp/2014/>

[米国スパイレント・コミュニケーションズ社 (Spirent Communications)について]

スパイレント社は、研究開発ラボや通信事業者、通信機器製造会社、一般企業のIT部門などで使用されるテスト機器の製造販売やコンサルティングサービスを行う業界のリーダ企業です。同社のソリューションによって40/100ギガビットイーサネットなどの有線から無線、衛星通信に至るまで、あらゆるお客様のQoE(Quality of Experience)を高めることができます。東陽テクニカは同社の日本国内における総代理店です。

[Spirent Studio について]

Spirent Studio は多様化・高度化するサイバー攻撃を疑似し、ネットワークセキュリティの堅牢性を評価する専用アプライアンスです。ネットワーク上の脆弱性を誘発する Fuzzing(ファジング)試験、マルウェアを含む既知の脆弱性攻撃、DDoS 攻撃に対応しUTM、IPS/IDS、ファイアウォールなどのセキュリティデバイスを効率よく評価することが可能です。また Skype、LINE や YouTube などのアプリケーショントラフィックを生成し、DPI 機能の検証やセキュリティポリシーの最適化など、多様な試験を可能にします。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、<http://www.toyo.co.jp> をご覧ください。

[Check Point TE1000 Appliance について]

Check Point TE1000 Appliance は、3000 人超のユーザに対応するプライベート・クラウドでエミュレーションを実行するセキュリティ・システムです。TE1000 は一ヶ月で 100 万以上のファイルを検査することができ、2Gbps 以上のスループットの実現、28 の仮想マシンを構築することが可能。アプライアンス内のエミュレーション環境で、ビジネス文書(Adobe PDF、Microsoft Word/Excel/PowerPoint、EXE、ZIP 内のファイル)や実行可能ファイルを利用した新しい攻撃や未知の攻撃を阻止できるほか、既存のセキュリティインフラストラクチャを活用し、セキュリティのコストを低減することが出来ます。

[チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズについて]

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ・リミテッド(www.checkpoint.com)は、インターネット・セキュリティにおけるトップ企業として、セキュリティの複雑さと総所有コスト(TCO)を低減しつつ、あらゆるタイプの脅威からお客様のネットワーク環境を確実に保護するための妥協のないセキュリティ機能を実現しています。チェック・ポイントは、FireWall-1 と特許技術のステートフル・インスペクションを開発した業界のパイオニアです。チェック・ポイントは、革新的セキュリティ技術である Software Blade アーキテクチャをベースとした一層

の技術革新に努めています。Software Blade アーキテクチャは、導入先に合わせカスタマイズすることで、あらゆる組織のセキュリティ・ニーズにも的確に対応できる、柔軟でシンプルなソリューションの構築を可能にします。チェック・ポイントは、技術偏重から脱却してセキュリティをビジネス・プロセスの一環として定義する唯一のベンダーです。チェック・ポイント独自のビジョン 3D Security は、ポリシー、ユーザ、実施という3つの要素を統合して情報資産の保護を強化し、導入環境のニーズに合わせて高度なセキュリティを確保できるようにします。チェック・ポイントは、Fortune 100社およびGlobal 100企業の全社を含む、何万ものあらゆる規模の企業や組織を顧客としています。数々の受賞歴のあるチェック・ポイントのZoneAlarmソリューションは、世界中で何百万にも及ぶお客様のPCをハッカー、スパイウェア、および情報窃盗から未然に保護しています。

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズの全額出資日本法人、チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社は、1997年10月1日設立、東京都新宿区に拠点を置いています。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.checkpoint.co.jp/>

“Spirent Studio”およびスパイレント社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 情報通信システム営業部

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: spirent-web@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: kikaku@toyo.co.jp

* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

* 記載の商品名、担当部署、WebサイトのURLなどは、本リリース発表時点のものです。